

第6回 フォトコンテスト

造園作品の写真ご応募ください!!

随時受け付け
しています

優秀作品は 優秀賞1名 賞金とトロフィーの授与
入賞 2名 賞金の授与
翌年カレンダーへ使用させていただきます

応募
方法

- ① メールで提出 E-mail : takano@e-392.com
- ② 写真で提出 裏面に事業所名・氏名を記入し郵送
送り先 : 〒371-0014 前橋市朝日町 3-12-20
(一社)群馬県造園緑化協会

- ★造園作品を撮影した写真(作庭作品や手入れ作品など)
- ★過去に撮影した写真もOKです(製作時期は問いません)
- ★1人につき多数の応募も受け付けいたします



編集
後記



新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ここ数年は自粛せざるを得なかった通常総会でしたが、2023年は規模を通常に戻しての開催となりました。

小雨が降る中、第39回通常総会を桐生グランドホテルにて令和5年5月19日(金)18時30分より、根岸憲一さんを議長として始まりました。事業報告・収支決算報告等、通常の進行に加え、今年度は役員改選もあり新旧交代のあいさつ、感謝

状の贈呈等がありました。

滞りなく無事総会を終えたあとは、初顔合わせ・久しぶりの再会もあり、お酒も入って大いに盛り上がり終始賑やかムードでした。

総会を皮切りに講習会や研修旅行など、会員のみなさんにとって充実した1年を送ることができたのではと思います。2024年も良い年でありますように!

会報

造園群馬

No.97 令和5年12月25日

発行 一般社団法人群馬県造園緑化協会
前橋市朝日町3-12-20 TEL.027-243-5693

印刷 小島印刷株式会社
伊勢崎市西小保方町501-4 TEL.0270-62-3298

伊賀野の花畑

利根郡みなかみ町羽場1678

写真奥に見える白いテントはホウキ作りの体験会。たくさんの人たちが賑やかに楽しんでいた。



休耕地の荒廃を防ぐため、地元の有志が尽力。新観光スポット誕生。

「伊賀野の花畑」は、沼田市方面から猿ヶ京温泉に向かう途中の山間部に広がる。2009年に地元の有志が、休耕地が荒れるのを防ごうと、ホウキ草(コキア)の栽培を始めたのが起こりだ。

その後徐々に小菊やそばなども栽培されるようになった。花畑の広さは約2.5ヘクタールで、そのうちホウキ草が1.5ヘクタールを占める。小菊とそばはそれぞれ0.5ヘクタール。

歴史としては比較的浅いが、インターネットや口づてなどで情報が拡散され、年々観光客が増え続けている。

見ごろはホウキ草が10月上旬から中旬、小菊は10月下旬から11月上旬頃。

展望台やブランコなどが設置されていて、家族連れでもゆっくり楽しめる。

駐車場は無料(だいたい50台くらい止められる)。ただし未舗装なので、天候によっては注意が必要だ。



秋のなかばになるとホウキ草の赤い色が畑一面を染める。沼田市から猿ヶ京方面に向かうと右手の山間部へ数キロメートル入る。展望台から眺めると眼下に集落を見下ろす。



右側はワラで作った「笑わらバス」。



花畑全体を一望できる展望台。

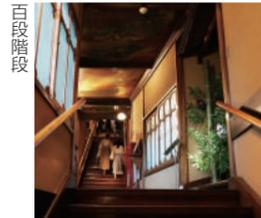
神宮外苑と目黒雅叙園百段階段

(一社)群馬県造園緑化協会 研修旅行 令和5年9月10日・11日



バスの車内は笑いが絶えず

本年9月、コロナ禍で長らく行えていなかった研修旅行が東京・千葉方面を研修先に行われました。今回は都市計画で変わりつつある神宮外苑と目黒雅叙園内の百段階段を見学する旅となりました。当会の研修旅行は群馬県内を回りながら各所で会員の皆さんが乗車して目的地まで向かう形です。最初の乗車地から最後の乗車地では2時間近い開きがあり、最初に乗車された方の最初の休憩場所が最後の乗車地となるもしばしばで



す。県内移動中でも、多くの差し入れを頂きバス内は常に笑いが絶えない様子でした。

初めに昼食会場でもある目黒雅叙園にて企画展「和のあかり×百段階段 2023」を見学しました。『百鬼夜行』をストーリーテーマに、現世から異界へと旅をする美しくも妖しい世界が演出された建物を見学しました。参加された方は、装飾された各部屋をめぐる展示された装飾や欄間などを熱心に見学されていました。昼食もちょっと豪華な中華料理と、お酒も少々頂きながら楽しい時間を過ごしました。

見学した「百段階段」は通称で、ホテル雅叙園東京の前身である目黒雅叙園3号館にあたり、昭和10年に建

てられ現存する唯一の木造建築です。食事を愉しみ、晴れやかな宴が行われた7部屋を、99段の長い階段廊下で繋いだものです。その装飾の美しさから見ても、伝統的な美意識の最高到達点を示すものとされています。そして平成21年3月、東京都の有形文化財にも指定されました。

大規模土地開発地を見学

昼食、見学を終え途中休憩をはさみながらホテルに到着。宿泊先は「旅行げ〜ば楽しい、ホテル三日月」です。ホテル三日月には数々の趣向の違ったお風呂があり、日々の疲れを癒しました。そしていざ宴会へ。いつも思う事ですが、よく飲み、よく食べ、よく笑い、楽しい時間はあっという間でした。今回は、若手会員方も多く参加され場を盛り上げて頂きました。そう言えば……。宴会が終わってから朝食や出発まで若手会員の姿は、ほぼ確認できませんでしたね。忸度させて頂きました。

翌日は神宮外苑での研修です。東京オリンピックのメイン会場である国立競技場の築造と周辺の再開発を皮

切りに始まった大規模都市再開発地の見学です。バスの車中から資料を基に、再開発地区内の現状を確認し説明を受けながらの一次見学でした。その後降車し周辺を散策しました。この見学は、造園を生業とする私たちにも身近な話題であり問題です。著名人からの発信で話題となっている樹木の伐採計画を肌で感じるためのもので。事業者に多くの意見が寄せられ伐採の可否が問われている所です。この神宮外苑は、数年間で全く変わった景観になってしまいます。今回感じた肌感覚を数年後の完了時に見ただけに捕らわれず、肌で感じて欲しい、そんな目的で組み込みました。猛暑の中の散策となりましたが、木陰では木々の潤いも感じられました。こうして全ての行程を終了し帰路につきました。

最後になりましたが大きなトラブルもなく無事に帰ってこられました事が最大の報告です。末筆となりましたが、多くの方から多大なるご奉仕を頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。(福田 勝巳)



さらなる安全と安心をめざして

第36回安全衛生大会・第5回フォトコンテスト開催

●とき/令和5年10月27日(金)午後2時～午後4時 ●ところ/前橋市総合福祉会館 第四コミュニティセンター2F 文化教養室



司会は流暢な話し方で定評のある福田副会長。



にこやかな表情であいさつする須永会長。



安全事業所で表彰された太田支部の渡邊さん。



若さあふれる新入会員飯塚正樹さん。



約50分間にわたって熱心に話をする芳賀課長。

今回の会場は、前橋総合福祉会館内にある第四コミュニティセンターにて行われました。

出席者は20名で、定評のある流暢な話し方の名司会、福田副会長の開会のことばにより、定刻通りスムーズに開会されました。

最初に須永会長から、講師の紹介かたがたあいさつがあり「これから年末に向かって繁忙期になりますが、高所での作業などに気をつけていただくとともに、今日の安全講話を聞いて、今後の仕事に活かしていただければと思います」とのあいさつがありました。

安全事業所の表彰は太田支部のLife Work 渡邊不二夫さん。渡邊さんは「普段から安全を心がけていますが、これを機に、さらに周りの人のことも考えながら仕事をしていきたい」と感想を述べました。

新会員は1名で、渋川支部の飯塚緑地株式会社、飯塚正樹さんです。「須永会長のラブコールで入会させていただきました」と、ユーモアをまじえながら、「いろいろ知識を吸収させていただき、今後活かしていきたい」とあいさつされました。

この後須永会長から会員の証が授与され、司会の福田副会長から「若手が入って活性化されることを願います」との言葉が添えられました。

今年の安全講話は、群馬労働局の芳賀課長による「労働災害の未然防止にむけて」です。

「労働災害は減っていると言われていたが実際は増加傾向にあり、年間で約2,500件ほどだったが、昨年はコロナの影響があったことから、約5,000件あった。仕事上でコロナに感染した事例もあり、亡くなった人もいる」というところから講話が始まりました。

災害の種類としてもっとも多いのは、樹木の手入れで

第36回安全衛生大会プログラム	
☆集合・第5回フォトコンテスト投票受付	
☆開会	
☆開会のことば	司会 福田副会長
☆会長のあいさつ	須永宜夫会長
☆安全事業所表彰式	太田支部 Life Works
☆新入会員紹介	渋川支部 飯塚正樹氏 (飯塚緑地株式会社)
☆安全講話	群馬労働局 労働基準部 健康安全課 課長 芳賀裕 様 「労働災害の未然防止にむけて」
☆謝辞	矢島支部長
☆閉会のことば	深澤副会長
☆休憩	
☆フォトコンテスト入賞者発表および表彰式	
☆終了	



謝辞を述べる矢島支部長。



深澤副会長の開会のことば。

所からの転落も多いので注意が必要とのことでした。

出席者に配付された資料をもとに講話が進められ、詳細にわたって説明がなされました。

講話が終了すると桐生支部の矢島支部長から、「大変重要で貴重なお話をいただきありがとうございました。法令等が進んでいるなかで、これだけ労働災害が多いのは驚きました。基本にかえり、災害のない職場を作っていければと思います」と謝辞が述べられました。

最後に、深澤副会長から「高齢者が脚立にのぼったりチェーンソーを使ったりするときに、若い皆さんはどうしたら事故を防げるか、と考えることがわかりやすいと思います」と締めくくりました。

足元に落ちた枝につまづくなどによる「転倒」、二番目には無理な姿勢で作業することによる「動作の反動・無理な動作」が多いことが指摘されました。

三番目は「墜落・転落」で、脚立やはしごから落ちたり、トラックの荷台で作業していて転落するなど、低い

第5回フォトコンテスト

会場には応募作品19点が掲示され、会員は随時お気に入りの作品に投票。

安全衛生大会閉会后、入賞者の発表と表彰式に移りました。初めに、前回優秀賞の須永会長よりカップが返還され、続いて入賞者の発表が行われました。

入賞は館林支部の有限会社石川造園石川治さんと、前橋支部の根岸園芸根岸聡さんです。優秀賞に輝いたのは前橋支部の有限会社駒形造園木暮幸一さんです。木暮さんは都合によって途中退席していたため、須永会長が変わりに表彰を受けました。

表彰式終了後の挨拶で、根岸聡さんは「私が造園業に入ってすぐの仕事で、クスノキを移動して庭を造り直す仕事でした。お客さんが鉄工場を営んでいて、その



クレーンで木を移動。木の皮が割れてしまったけど、その後も元気に育ってくれています。けっこう思い入れのある庭です」と喜びを表しました。

石川治さんは「依頼主はボブズクレープというクレープ屋さんです。クレープなのになんで和風なの、と訊かれるのですが、オーナーさんがどうしても和風でという要望でした。造園工事が少ないなかで、自分としても嬉しかった。館林に来たらぜひこの店に寄っていただければ」と、店の応援もしていました。

司会の福田副会長から「皆さん、今から準備を進めていただいて、来年のコンテストにもぜひ応募してください」との話があり、最後に須永会長が挨拶で、「造園工事はなかなか数が少ないですけど、樹木の手入れが増えていきますので、そのへんも視野に入れて、ふるって応募していただきたい」と締めくくりました。

応募作品



優秀賞/南駒形造園



入賞/根岸園芸



入賞者の皆さん。

最新の電動工具を実体験! 工具説明会開催



令和5年4月8日土曜日、賛助会員である有限会社中発産業機械さんの敷地内にて株式会社マキタのスタッフ(埼玉支店OEP主任 大場 康彰氏)による『群馬県造園緑化協会会員向けプロ用電動工具説明会』が開かれました。

最新の電動工具に数多く触れる貴重な機会となり、スタッフによる実演や参加者の試し使用など、店舗で展示品を見るだけとは違い、実際の使用感が良く分かり、また各工具のバッテリーの持ち



(株)マキタ 大場氏



メーカーならではの話にみな興味津々!

具合やパワーや耐久性などを詳しく知ることができました。近年、市街地作業での騒音問題が危惧されており静かであり、なおかつ作業パワーのある電動工具を良く理解できる大変参考になる会となりました。

(太田支部/浅倉 英太郎)



触れる、動かす、欲しくなる!



エッセー 木々は好日 36

縁起かつぎにも使われるエノキ

新木としろう (グラフィックデザイナー)

マツやスギなどに較べるとマイナーだが存在感は大きい。ニレ科の落葉高木で、高さ20メートル、直径1メートル以上になる。比較的暖かい地域に見られ、日当りのよい適潤地、特に沿海地に多い。

日本では青森県南西部以南の低地に生え、台湾、朝鮮、中国南部、インドシナなどにも分布する。

日本のエノキ属は、エノキのほかにもエゾエノキやコバノチョウセンエノキがある。

用途が広く、庭園樹や屋敷木のほか、街路樹としても植ええられる。かつては道路の一里塚に植えられて道標とされたり、村境や橋のたもとにも植えられ、道祖神の神木となっていたこともあった。

常緑のヤドリギがよく寄生することから人々の関心を集められるようになり、その結果、神の木として境に祀るようになったと考えられる。

新しい葉が出る4月から5月頃、新枝下部の葉の腋から雄花の集散花序が発生し、上部の葉の腋に1個から3個の両性花が東生する。花には4枚の紅褐色の萼片と4本のおしべがある。

径6ミリから7ミリほどの果実がつく。球形の核果で、ダイダイ色に熟す。甘味が生じることから、かつては子どもが好んで食べた。また、竹鉄砲の玉に利用されるなど、



広く張られた枝に、ゆがんだ卵形のような形の厚い葉が互生する。葉の基部から3本の主脈が出ていて、へりの上部には浅い鋸歯(きよし)がある。表裏ともざらついている。葉の長さは4センチから8センチ、幅は3センチから5センチほど。



樹皮からは想像できないが、灰黄褐色の材は環孔材(道管が年輪に沿って環状に配列している。そのため、木目がはっきりと表れて美しい)でやや堅く、建築材や家具をはじめ、運動具、機械材などのほか、薪炭材などにも利用される。



子どもの遊びにも貢献していた。

名の由来は「餌(えさ)の木」といわれる。漢字では「榎」と書く。道端に茂って木陰を作るため、「夏の木」を思わせることによるとされている。

また、縁切りや、その逆に縁結びなど、特殊ないわれのある木も多い。東京都板橋区本町には「縁切榎(えんきりえのき)」と呼ばれるものがある。

縁切りの願がかけられるために縁切り榎の伝説が生まれ、嫁入りの際にはこの木のそばを通るのを避けることもあった。

その一方、エノキには元旦に黄金のカラスが飛来するといわれたり、屋敷を褒める歌では「屋敷の北西隅の榎に黄金がなる」と歌われている。現実には、名古屋近郊には「福榎」と称し、屋敷の北西にエノキを植えている家がある。